

加東市東条福祉センター「とどろき荘」
令和2年度決算及び
令和3年度事業計画（案）について

令和3年7月1日

加東市東条福祉センター「とどろき荘」運営審議会

1 令和2年度決算について

入浴者数を維持しながら、収支バランスのとれる経営を目標に運営を行いました。

(1) 入浴者数の状況

新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言下、4月11日から5月31日まで51日間休業し、6月から営業を再開しました。

6月から9月までは、営業再開を待ち望んでいた利用者による入浴や、令和元年度同様に猛暑日が多かったことによる低温風呂の利用により、令和元年度の同期間の約96%の入浴者数を維持しました。

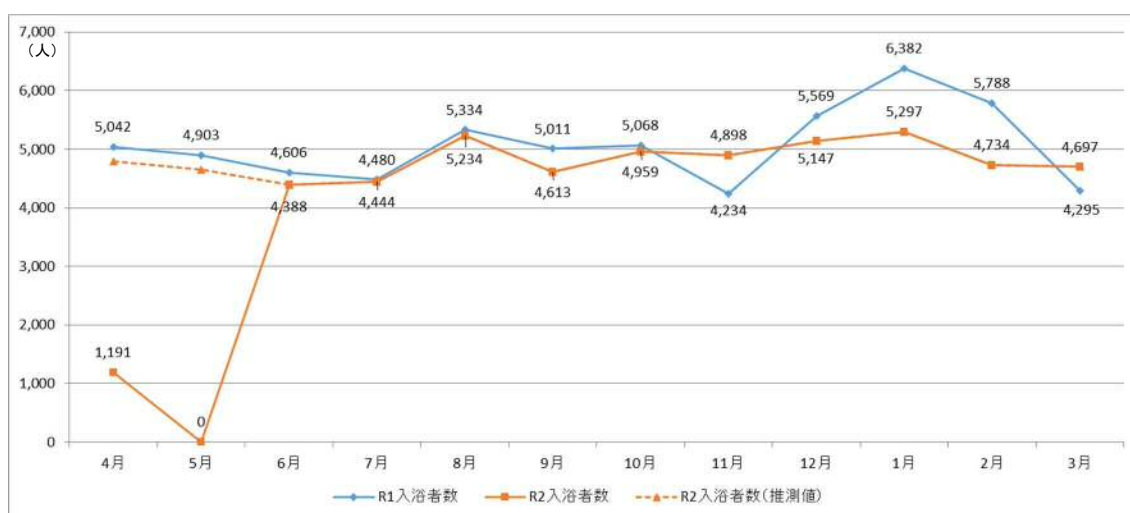
10月から12月までは、「オータムキャンペーン」の効果があり、令和元年度並みの入浴者数となりました。

年末年始（令和2年12月29日～令和3年1月3日）の間に入浴者数は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のための、県の緊急要請があったことが影響し、令和元年度の約5割減となりました。

1月14日から2月28日までは、再度、新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言下で時間短縮営業（20時閉館）を行い、3月から通常営業に戻りましたが、1月～3月の入浴者数は令和元年度同期間の約89%となりました。

年間の入浴者数は、令和元年度の60,712人に対し49,602人（81.7%）となりました。4・5月の緊急事態宣言による休業がなかったと仮定すれば、入浴者数は57,859人（休業期間で8,257人を見込む）となり、令和元年度の95.3%となりました。

下記に、令和元年度と令和2年度の入浴者数を比較しました。



(2) 収支状況

① 収入については、主に下記の要因により、予算額に対し、1,019千円増の51,880千円となりました。

- ・指定管理料では、4・5月の入浴休止に伴う市からの補償金として、295千円増収
- ・入浴料では、4・5月の入浴休止及びコロナ禍による外出自粛の影響があったが、年4回の入浴券販売促進キャンペーンが好調だったため544千円の増収
- ・その他では、雇用調整助成金等、国・県の支援措置5,696千円の受給により、842千円の増収
- ・収益事業では、売上に関わる集客イベント（とどろきカフェ、ふれあいカラオケの集い、等）の中止により、事業費用を縮減したため、30千円の増収

② 支出については、主に下記の要因により、予算額に対し、170千円減の50,612千円となりました。

- ・人件費では、受付業務を委託から直接雇用に変更したため、令和元年度より2,297千円の増額
- ・事業費では、4・5月の休業及び上水道料金の減免による水道光熱費の減少により、令和元年度より1,012千円の削減
- ・事務費では、受付業務を委託から直接雇用に変更したため、令和元年度より4,916千円の減額

年間を通しての入浴単価は470円/人となり、コロナ禍により入浴者数が減少したにも関わらず、入浴券販売促進キャンペーンや国・県からの支援措置により収支バランスの取れた運営になりました。

今年度は1,268千円の黒字となりました。

(3) 令和2年度運営状況推移

次ページの表は、令和2年度の入浴者数及び収支の推移をまとめたものです。

＜令和2年度 入浴者数・収支の推移＞

① 入浴者数

	(単位・人)													
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	
R元年度入浴者数	5,042	4,903	4,606	4,480	5,334	5,011	5,068	4,234	5,569	6,382	5,788	4,295	60,712	
R2年度入浴者数 (推測値)	1,191 (4,790)	0 (4,658)	4,388	4,444	5,234	4,613	4,959	4,898	5,147	5,297	4,734	4,697	49,602 (57,859)	
前年度比(%) (推測値)(%)	23.6% (95.0%)	0.0% (95.0%)	95.3%	99.2%	98.1%	92.1%	97.8%	115.7%	92.4%	83.0%	81.8%	109.4%	81.7% (95.3%)	
	96.1%					100.9%				89.5%				

② 収支
(収入)

	(単位・千円)													R2予算額
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	
指定管理料	3,693	2,312	0	3,130	1,588	0	1,940	1,692	1,345	295	0	0	15,995	15,700
入浴料	277	9	2,577	1,179	1,761	3,437	1,390	1,484	4,442	1,637	1,722	3,403	23,318	22,774
テナント使用料	93	96	142	138	138	138	138	138	138	138	138	138	1,573	1,564
その他	0	0	5,220	10	11	738	10	30	17	28	55	33	6,152	5,310
収益事業収入	173	0	449	426	490	395	494	418	560	459	507	471	4,842	5,513
計	4,236	2,417	8,388	4,883	3,988	4,708	3,972	3,762	6,502	2,557	2,422	4,045	51,880	50,861

※テナント使用料は、テナント使用料及び自動販売機基本設置料

※その他は、多目的ホール使用料及び国・県からの支援措置

※収益事業収入は、土産物売上金や自主運営事業の収入

	(単位・千円)													R2予算額
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	
人件費	1,388	1,143	3,125	1,526	1,992	2,464	634	1,680	3,673	1,912	1,803	2,676	24,016	24,316
事業費	1,793	402	627	831	1,730	1,103	1,714	829	2,014	1,138	1,938	949	15,068	14,874
事務費	838	832	271	182	1,042	619	120	436	434	1,109	360	1,163	7,406	6,829
収益事業支出	217	40	618	280	346	345	309	303	426	436	362	440	4,122	4,763
計	4,236	2,417	4,641	2,819	5,110	4,531	2,777	3,248	6,547	4,595	4,463	5,228	50,612	50,782

	(単位・千円)													収支差額
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	
(収入-支出)	0	0	3,747	2,064	▲1,122	177	1,195	514	▲45	▲2,038	▲2,041	▲1,183	1,268	79
	3,747			1,119			1,664			▲5,262				

事業の継続を支える支援措置(受給済)

(単位・円)

(1) 雇用調整助成金(4・5月分)	...	2,071,950	…6月・9月「その他」収入に算入
(2) 緊急雇用安定助成金(4・5月分)	...	324,414	…6月「その他」収入に算入
(3) 持続化給付金	...	2,000,000	…6月「その他」収入に算入
(4) 休業要請事業者経営継続支援金(県制度)	...	1,300,000	…6月・9月「その他」収入に算入
計		5,696,364	
○ 市による休業補償	...	295,000	…1月「指定管理料」収入に算入

2 令和3年度事業計画（案）について

令和2年度は、コロナ禍により入浴者数は減少しました。今年度もこの状況は続くと考えられるため、引き続き、感染予防対策を万全に行った上で、入浴者数を維持するため以下の取組を行い、収支バランスのとれた運営を目標とします。

(1) 入浴者数維持のための取組

① 入浴者の顧客管理の仕組みの活用

令和2年度から取り組んでいる入浴ポイントによる顧客管理により、入浴者を以下の4ランクに区分しています。

A ランク…	入浴20回にかかる期間が2か月未満の人
B ランク…	// 2か月以上3か月未満の人
C ランク…	// 3か月以上1年未満の人
D ランク…	// 1年以上の人

A～D ランクの入浴者が各シーズンキャンペーンに応募する際、賞品の差別化を図ることで、利用頻度が増えることのメリットを周知し、入浴者増につなげます。

さらに、令和2年度はAランクの入浴者のDMハガキにのみランクを記載していましたが、他のランクの入浴者にも記載することで、利用促進につなげます。

② 入浴券販売促進キャンペーン（毎度ありキャンペーン）の実施

入浴券販売促進のため、回数券の販売を行います。（6,000円で11枚綴り）

また、キャンペーンの実施時期には、告知を希望する入浴者に対してDMハガキを郵送し、常連客に必ず来てもらえるようにするとともに、入浴回数の維持・増加につなげます。

③ 各シーズンキャンペーンの実施

協賛店の金券等が当たる抽選（4回入浴で1回応募可能）を実施し、新規入浴者・常連客の両方に対して入浴利用を促します。

また、シーズンキャンペーンの告知については、「②入浴券販売促進キャンペーン」のDMハガキに併記することにより、郵送費を抑えます。

④ ホームページや SNS の継続的な活用

とどろき荘ホームページには営業カレンダーのほか、混雑状況、新型コロナウイルス感染症対策の実施状況等、入浴者が必要とする情報を掲載します。

また、Facebook の定期的な更新により、SNS を利用する入浴者への継続的なアプローチを行い、入浴頻度の増加につなげます。

(2) 入浴者数及び収支の見込み

入浴者数及び収支を次ページのとおり見込みます。

① 入浴者数の見込み

緊急事態宣言（4月25日から6月20日までの57日間）による休館のため、入浴者数は減少していますが、6月21日以降、前ページ①～④の各取組を行い、年間入浴者数 52,000 人を目指します。

② 収支の見込み

入浴ポイントによる顧客管理の取組を進め、入浴者数を確保するとともに、新型コロナウイルス感染症に対する国・県の支援制度や、緊急事態宣言による休業に対する市の補償により、収入減少の影響を補うことで、900 千円の黒字を見込みます。

<令和3年度 入浴者数・収支の見込み>

① 入浴者数

(単位・人)													
	4月	5月	6月(見込み)	7月(見込み)	8月(見込み)	9月(見込み)	10月(見込み)	11月(見込み)	12月(見込み)	1月(見込み)	2月(見込み)	3月(見込み)	計
R2年度入浴者数	1,191	0	4,388	4,444	5,234	4,613	4,959	4,898	5,147	5,297	4,734	4,697	49,602
R3年度入浴者数	3,056	0	2,594	4,622	5,496	4,890	5,257	5,192	5,404	5,562	4,971	4,956	52,000
前年度比(%)	256.6%	-	59.1%	104.0%	105.0%	106.0%	106.0%	106.0%	105.0%	105.0%	105.0%	105.5%	104.8%

② 収支

(収入)

(単位・千円)													
	4月	5月	6月(見込み)	7月(見込み)	8月(見込み)	9月(見込み)	10月(見込み)	11月(見込み)	12月(見込み)	1月(見込み)	2月(見込み)	3月(見込み)	計
指定管理料	2,659	2,217	2,754	345	2,925	0	646	1,253	1,235	1,666	0	3,700	19,400
入浴料	796	0	1,219	2,126	1,912	3,844	1,528	1,535	4,330	1,928	1,766	3,609	24,593
テナント使用料	134	125	96	136	136	136	136	136	136	136	136	136	1,579
その他	13	0	4	11	12	259	9	29	17	28	55	23	460
収益事業収入	288	57	221	446	536	437	539	458	608	460	492	514	5,056
計	3,890	2,399	4,294	3,064	5,521	4,676	2,858	3,411	6,326	4,218	2,449	7,982	51,088

※テナント使用料は、テナント料及び自動販売機基本設置料

※その他は、多目的ホール使用料

※収益事業収入は、土産物売上金や自主運営事業の収入

(支出)

(単位・千円)													
	4月	5月(見込み)	6月(見込み)	7月(見込み)	8月(見込み)	9月(見込み)	10月(見込み)	11月(見込み)	12月(見込み)	1月(見込み)	2月(見込み)	3月(見込み)	計
人件費	1,619	1,436	3,125	1,526	1,992	2,464	635	1,681	3,672	1,919	1,808	2,645	24,522
事業費	1,738	383	600	812	1,889	960	1,684	793	1,770	1,026	1,960	896	14,511
事務費	330	571	252	222	1,184	585	106	354	372	1,266	207	897	6,346
収益事業支出	203	9	317	504	456	386	433	583	512	553	410	443	4,809
計	3,890	2,399	4,294	3,064	5,521	4,395	2,858	3,411	6,326	4,764	4,385	4,881	50,188

(収支差額)

(単位・千円)													
	4月	5月(見込み)	6月(見込み)	7月(見込み)	8月(見込み)	9月(見込み)	10月(見込み)	11月(見込み)	12月(見込み)	1月(見込み)	2月(見込み)	3月(見込み)	計
(収入-支出)	0	0	0	0	0	281	0	0	0	△546	△1,936	3,101	900

0

281

0

619

事業の継続を支える支援措置(未受給)

- (1) 雇用調整助成金(5・6月分)
 - (2) 緊急雇用安定助成金(4~6月分)
 - (3) 兵庫県大規模施設等協力金
- ・・・(申請予定)

○ 市による休業補償 ・・・3,700,000円※(令和4年3月指定管理料に算入)

※概算の金額。上記(1)~(3)の受給後に精算する。

とどろき荘の今後の運営方針について

1 運営方針

東条福祉センターとどろき荘の運営方針は、加東市公共施設適正配置計画《公共施設の適正化に関する計画》（令和2年3月改訂）により、下記の方針となっています。

東条福祉センターとどろき荘は、温泉施設の縮小を行い、宿泊部分については、公民館機能へ転用し、施設の複合化を図りました。さらに、一層の維持管理経費の削減や利用料収入の増加に努め、収支バランスのとれた事業運営が見込まれない場合は、温泉施設の廃止を決定します。

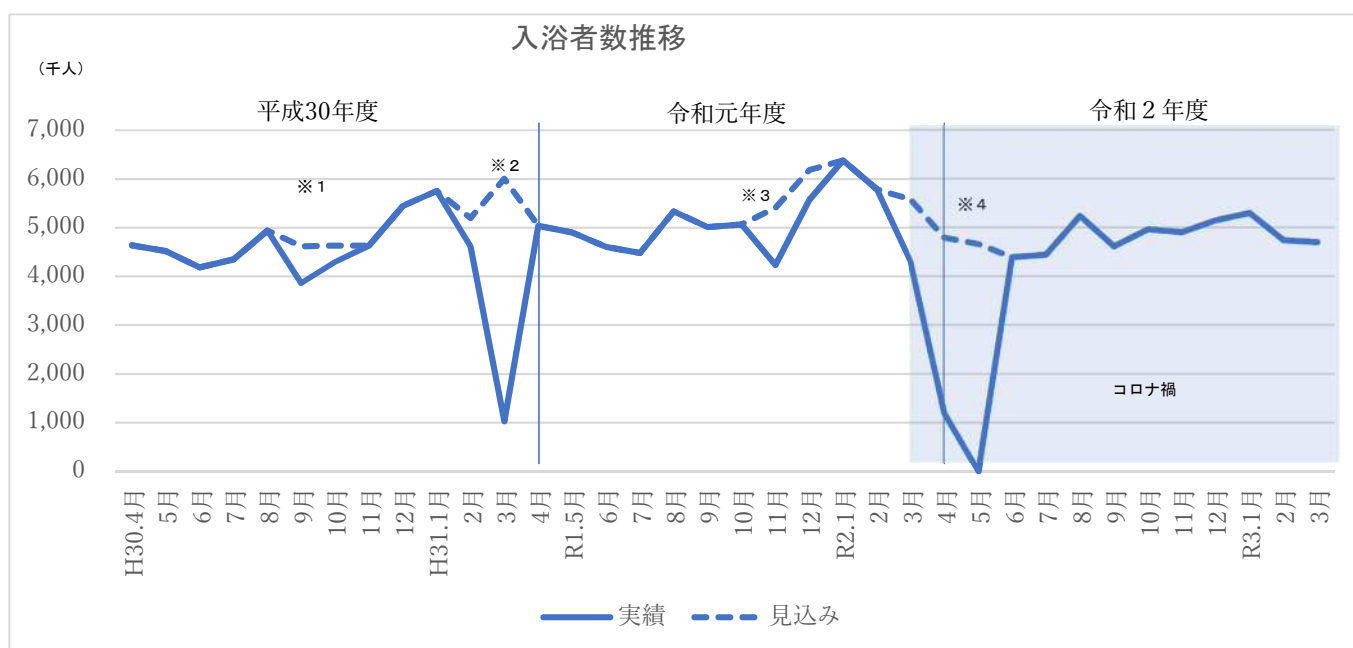
2 入浴者数の状況（営業縮小後）

平成30年度は、年間目標入浴者数7万人を目標として運営しましたが、源泉ポンプ移設工事（2月下旬～3月下旬）による休館が大きく影響し入浴者数は52,281人でありました。

令和元年度には、これまでの入浴者増加への継続的な取組による成果もあり、約8,400人増加し60,712人となりました。

令和2年度の入浴者数は、緊急事態宣言（新型コロナウイルス感染防止による）に伴う休業の影響を大きく受け49,602人となりました。

令和2年度末までの入浴者数の状況は、下記のとおりです。



※1 6日間休業（浴室天井修繕工事：9.26～10.3）

※2 26日間休業（源泉施設移設・浴室天井修繕工事：2.25～3.27）

※3 8日間休業（ろ過機修繕工事：11.25～12.8）

※4 32日間時間短縮営業（新型コロナウイルス感染症感染拡大防止：3.5～4.10）、

51日間休業（緊急事態宣言 4.11～5.30）

（注）点線部は、工事、緊急事態宣言での休業がなかったと仮定した場合の入浴者数の見込み

年間入浴者数（累計）

（単位：人）

	平成30年度	令和元年度	令和2年度
入浴者数（実績）	52,281	60,712	49,602
入浴者数（見込み）	58,922	63,784	57,859

3 収支の状況（営業縮小後）

平成30年度は、収入で入浴料の他に修繕工事に伴う市からの休業補償金や土産物の販売利益等があり、支出では職員のシフト調整による人件費削減ができましたが、1,330千円の赤字でありました。

令和元年度は、入浴料収入の増加や修繕工事に伴う市からの休業補償金がありましたが、各種ポンプ類の工事費の支出もあり315千円の赤字となりました。

令和2年度は、収支バランスのとれる経営を目標に運営を行いました。収入ではコロナ禍で入浴料収入が減少しましたが、新型コロナウイルス感染症対策支援が約5,216千円ありました。支出では、受付業務を委託から直接雇用に変更したことから事務費（委託料）の削減につながったことや、入浴料単価（470円/人）が維持できていることから、収支差額は1,268千円の黒字となりました。

（単位：千円）

		平成30年度	令和元年度	令和2年度
収入	指定管理料	17,707	16,243	15,995
	入浴料	23,485	28,833	23,318
	その他※	5,661	4,730	8,445
	計	46,853	49,806	47,758
支出	人件費	19,827	21,719	24,016
	事業費	16,520	16,080	15,068
	事務費	11,836	12,322	7,406
	計	48,183	50,121	46,490
収支差額（収入－支出）		△1,330	△315	1,268
（参考）入浴料単価（円/人）		449円	475円	470円

※「その他」内訳 … ホール使用料、テナント使用料、自動販売機基本設置料及び収益事業の収支差額

4 主な修繕工事等

老朽化した設備機器等の工事を、平成 30 年度から令和 2 年度にかけて実施しました。
主な内容は下記のとおりです。

年度	工事名	金額（千円）
平成 30 年度	制御盤等修繕	648
	源泉タンク移設工事	6,301
	更衣室空調設備工事	1,264
	浴室天井修繕工事	8,890
	計	17,103
令和元年度	電動弁修繕	862
	ろ過装置等修繕工事	18,686
	循環ポンプ修繕	688
	計	20,236
令和 2 年度	空調設備修繕	1,298
	屋内消火設備修繕	1,275
	男子高温風呂・ろ過機周辺機器等修繕	1,287
	源泉井戸ガスリスト揚水修繕	759
	源泉用フロアーポンプ修繕	792
	計	5,411
	合計	42,750

5 とどろき荘の強みと課題

とどろき荘の入浴者は、「近隣に在住し温泉を好む60代以上の高齢者が約7割を占めている。近場で泉質の良さを目的に入浴されており、遠方からわざわざ入浴される施設ではない。また、2か月以内に20回以上入浴されている常連客が64%を占めている」ことが特徴です。

これらの利用者から「とどろき荘の泉質は他の施設より良い。体の芯から温まり冷めにくい」という、嬉しい声も増えており、泉質の良さや常連客の多さが強みです。

今後は、これらの強みを維持していくための顧客管理や分析力の強化、老朽化している設備等の修繕に要する費用対効果が課題であると考えています。

6 今後の運営の見込み

営業再開（平成30年3月）から令和2年度まで、3年間が経過しました。

3年間の運営における各種取組により、入浴単価や、人件費・光熱水費についての支出額は改善され、概ね安定しています。

今後、令和22年度までは元気な高齢者が増え続けると予想されます。とどろき荘の入浴者も高齢者が多いことから、入浴者数の維持も可能であると考えられます。

これらのことから、令和元年度、令和2年度の運営状況と同様に、令和3年度以降も収支バランスのとれた運営が可能と見込んでいます。（次ページ）

指定管理者		加東市社会福祉協議会					次期指定管理者
		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度 (見込み)	令和4年度 (見込み)	令和5年度 以降 (見込み)
年間入浴者数	実績	52,281	60,712	49,602	52,000	55,500	55,500
	見込み	58,922	63,784	57,859			
収入	指定管理料	17,707	16,243	15,995	19,400	15,700	15,700
	入浴料	23,485	28,833	23,318	24,593	26,362	26,362
	その他※	5,661	4,730	8,445	2,286	6,000	6,000
	計	46,853	49,806	47,758	46,279	48,062	48,062
支出	人件費	19,827	21,719	24,016	24,522	24,100	24,100
	事業費	16,520	16,080	15,068	14,511	16,000	16,000
	事務費	11,836	12,322	7,406	6,346	7,500	7,500
	計	48,183	50,121	46,490	45,379	47,600	47,600
収支差額（収入－支出）		▲ 1,330	▲ 315	1,268	900	462	462
（参考）入浴単価		449	475	470	473	475	475

※「その他」内訳 … ホール使用料、テナント使用料、自動販売機基本設置料及び収益事業の収支差額

施設の維持管理に必要な工事費

工事費	17,103	20,236	5,411	7,711	4,473	34,664
工事内容（通常の温泉施設の維持管理に伴う）	<ul style="list-style-type: none"> 浴室天井修繕 更衣室（男）空調更新 制御盤等修繕 	<ul style="list-style-type: none"> ろ過装置修繕 電動弁修繕 循環ポンプ修繕 	<ul style="list-style-type: none"> ろ過機周辺機器修繕 空調設備修繕 泉源用ブロアポンプ修繕 	<ul style="list-style-type: none"> ポンプ類更新 更衣室（女）空調更新 	<ul style="list-style-type: none"> 高圧受電設備の更新（1/2） 泉源清掃・点検 	<ul style="list-style-type: none"> 高温風呂設備、水風呂設備の更新 水風呂チラー更新
備 考	・工事による休業の影響（2回）	・工事による休業の影響（1回）	・緊急事態宣言に伴う休業の影響	・緊急事態宣言に伴う休業の影響		<ul style="list-style-type: none"> 上記は令和5年度施行 ・6年度以降は大きな修繕の計画はなし